

# 小児医療体制について

千葉県 健康福祉部 医療整備課 医療体制整備室

電話番号 : 043-223-3879 メール : ryosei2@mz.pref.chiba.lg.jp

# 小児医療体制について

- 1 小児医療協議会について
- 2 県支援事業について
- 3 補助金について
- 4 現状の課題について

# 1. 小児医療協議会について

## ○ 事業概要

千葉県では、小児科医の不足や地域偏在等により、一部地域では小児救急医療体制の確保が困難な状態である。医師の働き方改革を進めていく上で、限られた医療資源を有効活用し、小児医療体制を整備する。（令和5年4月1日設置）

## ○ 協議内容

- 1 小児救急医療体制に係る調査分析に関する事項
- 2 医療計画（小児医療）の策定に関する事項
- 3 小児患者の搬送及び受入れ、小児死亡や重篤な症例に関する事項
- 4 その他、特に検討を要する事例や小児医療体制の整備に関し必要な事項

## ○ 令和6年度実施状況 1回（ZOOM開催）

### 【議題】

- (1) 小児初期救急医療体制について
  - ア 小児初期救急医療体制について
  - イ 東葛北部地域医療保健医療連携・地域医療構想調整会議小委員会の開催結果について
- (2) 小児科医の確保に向けた県の取組について
- (3) 質疑応答及び意見交換
- (4) その他

## ○ 主な意見

- ・内科医が小児科領域を診れるように、内科医に対する教育や研修を実施していく必要がある。
- ・入口を絞るための保護者への教育は必要である。教育により、夜間受診の抑制に効果があった。また、休日夜間の受診抑制については、#8000が効果的である。
- ・小児科医のリクルートについては、研修医だけでなく、中学・高校生等を対象に実施し、将来の目標とすることも良いのではないか。
- ・千葉医師研修支援ネットワークへの委託事業（小児科の合同セミナー）については効果が出ており良い取り組みである。（令和6年度に小児科専攻医となった医師は19名だったが、令和7年度は24名であり、増加がみられる。）

## 2. 県支援事業について

- (1) 小児救急電話相談（#8000）
- (2) 小児救急ガイドブック及びシールの作成
- (3) 小児救急医療啓発業務（乳幼児の保護者等に対する講習会）
- (4) 小児救急地域研修事業（小児科、内科医に対する研修会）
- (5) 千葉県医師修学資金貸付事業
- (6) 医師キャリアアップ・就職支援センター事業

## 2(1). 県支援事業について（小児救急電話相談 #8000）

- 夜間の小児の急病時に保護者等の不安を解消するとともに、不要・不急の受診を減らし、小児 救急医療体制の負担を軽減するため、看護師や小児科医師による夜間電話相談を実施。

**こども急病 電話相談**

受診した方が良いのか、  
様子をみても大丈夫なのか、  
看護師や小児科医が電話でアドバイスします。

朝まで 局番なしの  
**#8000**

銚子市からは、043(242)9939におかけください。

ダイヤル回線、光電話、IP電話、銚子市からおかけの場合  
**☎043(242)9939**

相談日時 令和5年12月から  
毎日・夜間 午後7時～翌午前8時

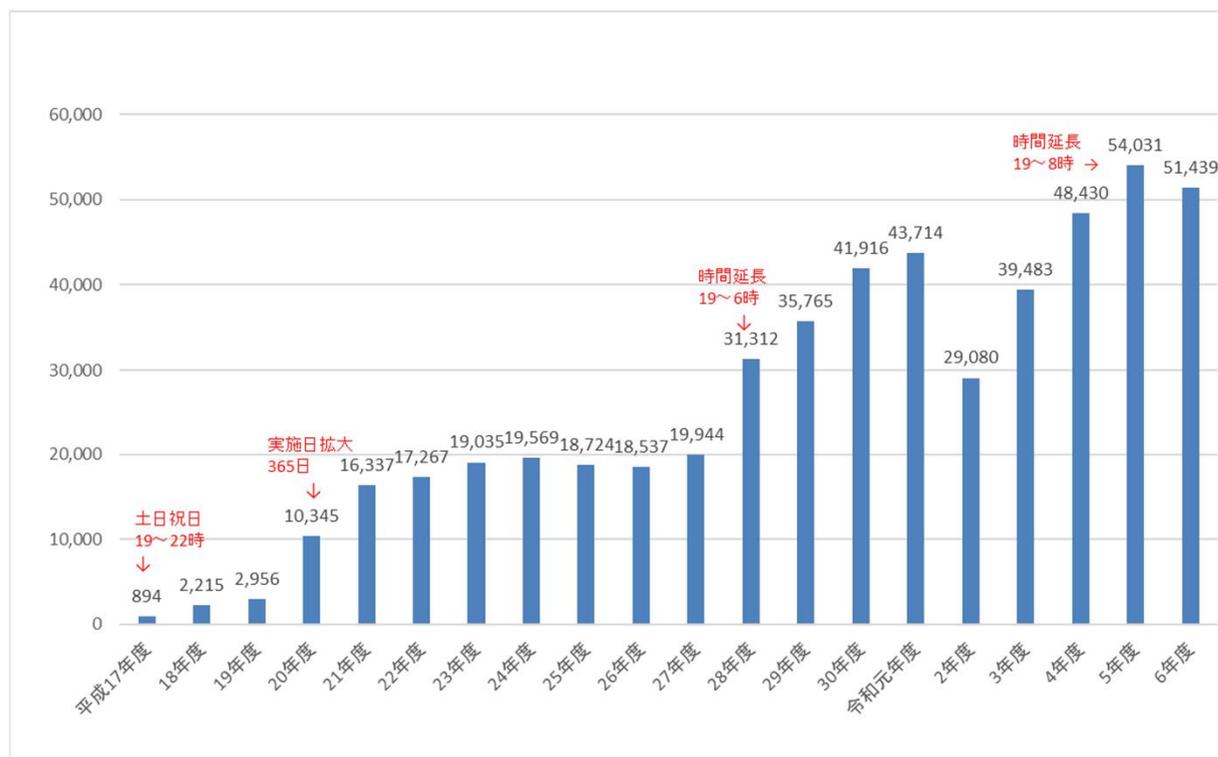
緊急・重症の場合は迷わず「119」へ

お子さんの急な病気で心配なとき…  
局番なしの #8000 または、043(242)9939

看護師・小児科医が電話で相談に応じます。

実施:千葉県 運営:千葉県医師会

小児救急電話相談事業相談件数



## 2(1). 県支援事業について（小児救急電話相談 #8000）

### ○ 令和6年度小児救急電話相談事業実績

医療圏	相談件数	割合
千葉	9,619	18.7
東葛南部	15,100	29.4
東葛北部	12,437	24.2
印旛	5,451	10.6
香取海匝	1,029	2.0
山武長生夷隅	2,488	4.8
安房	782	1.5
君津	2,422	4.7
市原	1,359	2.6
その他・不明	752	1.5
合計	51,439	100

市町村	相談件数
船橋市	5,527
習志野市	1,928
市川市	3,565
八千代市	2,103
鎌ヶ谷市	850
浦安市	1,127
合計	15,100

#### 【相談に対する助言内容（全県）】

- ・助言のみ 11.4%
- ・翌日かかりつけ医等の受診を勧める 18.5%
- ・何かあれば受診を勧める 41.6%
- ・医療機関を紹介 27.8%
- ・119を勧める 1.9%
- ・その他 0.1%
- ・重複 1.3%

(参考) 救急搬送実態調査 (令和5年度9月～10月 消防機関が把握した救急患者の傷病程度別の件数)

○ 事業目的

平成21年5月の消防法一部改正に伴い、各都道府県に策定が義務付けられた「傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準」については、基準作成後も、消防機関が有する搬送情報と医療機関が有する搬送後の傷病者の転帰情報等をあわせた総合的な調査・分析を継続的に行い、状況に応じて必要な見直しを行うことが求められている。

○ 千葉県

傷病程度	件数	割合(%)
死亡	470	0.9
重症	3,531	6.4
中等症	23,472	42.6
軽症	27,550	50.1
その他	10	0.0
無回答	11	0.0
合計	55,044	100.0

○ 千葉県小児 (15歳以下)

傷病程度	総件数 (件)	割合(%)	0～5歳 件数(件)	0～5歳 割合 (%)	6～15歳 件数(件)	6～15歳 割合 (%)
死亡	4	0.08	2	0.1	2	0.1
重症	84	1.7	46	1.6	38	1.9
中等症	1,189	24.7	717	25.6	472	23.4
軽症	3,541	73.5	2,037	72.6	1,504	74.6
その他	2	0.04	2	0.1	0	0.0
合計	4,820	100.0	2,804	100.0	2,016	100.0

○ 東葛南部 小児 (15歳以下)

傷病程度	総件数 (件)	割合(%)	0～5歳 件数(件)	0～5歳 割合 (%)	6～15歳 件数(件)	6～15歳 割合 (%)
重症	33	2.2	21	2.2	12	2.1
中等症	398	26.0	252	26.0	146	25.9
軽症	1,100	71.8	695	71.8	405	71.9
合計	1,531	100.0	968	100.0	563	100.0

東葛南部地域における消防機関が把握した救急患者の傷病程度の件数(右下表)

(参考) 救急搬送実態調査 (令和5年度9月～10月 消防機関が把握した救急患者の傷病程度別の件数)

## 東葛南部小児患者 (15歳以下) に係る主な収容先医療機関 上位5医療機関 (傷病別)

- 東葛南部における小児の重症患者については、5割が東葛南部圏域内に搬送されている。
- また、中等症については7割、軽症患者については7割が東葛南部圏域内に搬送され、東葛南部圏域の中で完結できている。

### ○重症

医療機関	件数	割合(%)
東京女子医科大学附属 八千代医療センター	9	27.3
順天堂大学 医学部附属 浦安病院	7	21.2
日本医科大学 千葉北総病院	3	9.1
松戸市立総合 医療センター	3	9.1
千葉県こども 病院	3	9.1

### ○中等症

医療機関	件数	割合(%)
東京ベイ・ 浦安市川医療 センター	77	19.3
船橋二和病院	73	18.3
東京女子医科大学附属 八千代医療 センター	59	14.8
船橋市立医療 センター	50	12.6
順天堂大学 医学部附属 浦安病院	37	9.3

### ○軽症

医療機関	件数	割合(%)
東京ベイ・ 浦安市川医療 センター	193	17.5
船橋二和病院	179	16.3
船橋市立医療 センター	163	14.8
順天堂大学 医学部附属 浦安病院	130	11.8
東京女子医科大学附属 八千代医療 センター	103	9.4

## 2(2). 県支援事業について（小児救急ガイドブック及びシールの作成）

- 小児救急において、即座に医師の診療が必要ない病気でも受診する保護者の増加などにより、特に夜間の病院勤務医への負担が増大しているため、状況を緩和するため、保護者に対し小児の急病時の対応などの啓発を積極的に実施する。



○各市町村を通じて配布

- ✓ 母子手帳交付時
- ✓ 3歳児健康診査時 等

**子ども急病電話相談**

急な病気で、今すぐに受診させた方が良いのかお迷いとき、  
看護師や小児科医がアドバイスします。

朝まで 局番なしの  
**#8000**

★ダイヤル回線、光電話、IP電話、  
銚子市からおかけの場合  
☎043(242)9939

★相談日時  
毎日19時～翌朝8時

千葉県・千葉県医師会

## 2(3). 県支援事業について（小児救急医療啓発業務）

- 小児救急において、即座に医師の診療が必要ない病気でも受診する保護者の増加などにより、特に夜間の病院勤務医への負担が増大しているため、状況を緩和するために、保護者に対し小児の急病時の対応などの講習会を実施。

子育て応援メッセ2024 in ふなばし

22日

みんなの情報が本

平成29年度ちばコソ大賞受賞

子育て応援講演会

心も体も元気に育て！

赤ちゃんは「守られていて安心！いい気持ち」という信頼関係を築く時期、幼児は運動機能が発達し「やってみたいな！」「うれしい！」など興味と自信に自覚め、自ら行動を始めています。私たちはそんな子どもたちとご家族を、みんなで応援したいと願い「子育て応援講演会」では毎年テーマを決めて、情報をお届けしながら「みんなどうしてる？」と身近な生活場面での交流も考えています。皆さまのご参加をお待ちしています。

小児救急ガイドブック  
プレゼント

船橋市医師会、千葉県小児科医会、千葉県小児保健協会、日本小児学会、千葉県地方会 後援事業

テーマI  
命を守ろう！～小さな子どものけが～  
だっこひも、ベビーカーで「おっと！あぶない！」とならないために

テーマII  
「心を丈夫に、体を丈夫に、より生きやすく！」  
スマホ見せる？ デジタル世代の育ちについて

会場 船橋中央公民館5階 第6,7集会所

定員 36名（コーナー係有 乳幼児連れで可参加OK）

対象 子育て中のご家族 支援者

講師 松本歩美 先生  
(船橋青い空こどもクリニック院長・千葉県医師会理事)

アシスト 西村智美香 看護師  
(一般社団法人マザーナースオリブ代表)

お申し込み方法  
参加費無料 QRコードからお申込みください

受付開始  
9月13日(金) 9:00より

開催日  
10月20日(日)  
時間: 10:30~12:00

★参加32団体が多様な子育て情報をお届けします。詳しくはHPでご確認ください★  
<https://messe-funabashi.com/>

お問い合わせ先  
実行委員会事務局 (NPO法人船橋子ども劇場内)  
月・火・金/10:00~15:00

047-424-0851  
留守電には必ず連絡先とご用件を入れてください

主催: 子育て応援メッセinふなばし実行委員会  
後援: 船橋市、船橋市医師会、千葉県小児科医会、千葉県小児保健協会、日本小児学会千葉県地方会、千葉県小児科医会、船橋市医師会、船橋市医師会、船橋市社会福祉協議会、船橋市工務局、船橋市私立幼稚園連合会、船橋市保育園協会、千葉県医師会船橋地区支部、船橋市医師会 (敬称略)

## 千葉市小児科医会 子育て応援フォーラム

日時/2025年3月9日(日)  
時間/開演 13:30 (開場 13:00)  
場所/千葉市社会福祉協議会  
美浜区事務所2階会議室  
(千葉市美浜区真砂5-15-2  
美浜保健福祉センター2階)



### 【プログラム】

演題1「乳児の食物アレルギー これって、乳児湿疹？アトピー性皮膚炎？」  
つばきこどもクリニック 院長 椿俊和先生

演題2「未来ある子どもたちを守るために私たち医療者ができること」  
千葉市立海浜病院前院長 寺井勝先生

主催: 千葉市小児科医会  
後援: 千葉市、千葉市医師会、千葉県小児科医会  
問い合わせ先: わらがいこどもクリニック  
Tel: 043-298-1555  
Email: [eventwaragal@gmail.com](mailto:eventwaragal@gmail.com)  
(代表者様のお名前、お電話番号、ご参加人数を事前にメールにてお知らせください。どうぞよろしくご願ひ申し上げます。)

## 2(4). 県支援事業について（小児救急地域研修事業）

- 小児科医師、内科医師等を対象として、小児救急医療に関する研修を実施し、地域の小児救急医療体制の補強及び質の向上を図る。

### 令和6年度 小児初期救急医療研修会

【日時】令和7年2月11日（火・祝）13:00～15:00

【ハイブリット開催】ZOOMウェビナー又は会場参加

【会場】千葉県医師会館 3階 会議室【〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-1】

【参加費】無料（職種を問わずご参加ください。）

【主催】千葉県医師会【協力】千葉県小児科医会

◆日本医師会生涯教育講座  
（カリキュラムコード：12：地域医療(0.5単位)、17：急性中毒(0.5単位)

#### 【プログラム】

13:00 開会（挨拶：千葉県医師会 理事 小嶋 良宏）

13:05～13:55（講演40分、質疑応答10分）

講演1「小児救急医療政策と#8000」

講師 土浦協同病院附属看護専門学校 学校長

日本小児科医会業務担当理事（小児救急医療、#8000） 渡部 誠一 先生

座長 藤森小児科 院長 藤森 誠

14:00～14:50（講演40分、質疑応答10分）

講演2「この子、食中毒かも？」のときに考えること

講師 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科 助教 出口 薫太郎 先生

座長 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科 篠崎 啓介

14:50～15:00 閉会（挨拶：千葉県小児科医会 会長 佐藤 好範）

#### 【WEB参加方法】※ZOOMウェビナー

1. 右記URL又は二次元バーコードより参加登録をお願いいたします。

2. 登録完了後、登録されたメールアドレス宛に視聴URLが送信されます。

3. 当日お時間になりましたら、参加URLをクリックしてご入室ください。

※メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダをご確認ください。

※登録したメールアドレスを変更したい場合は、そのまま別のメールアドレスを登録してください。

URL: <https://tinyurl.com/chiba0211>



#### 【会場参加方法】※Googleフォーム

1. 右記URL又は二次元バーコードより参加登録をお願いいたします。

2. 受講票は発行いたしませんので、当日はそのまま受付へお越しください。

3. 駐車場に限りがございますので、ない場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

URL: <https://forms.gle/z4pVDXHBkHziAtp8>



～本研修会は、千葉県医師会ホームページにて後日動画配信予定です。（令和7年3月1日～3月31日予定）～

#### 【過去3年実績】

令和6年度：95名（医師73名、看護師19名、助産師2名、養護教諭1名）

令和5年度：67名（医師45名、看護師21名、助産師1名）

令和4年度：101名（医師91名、看護師10名）

## 2(5). 県支援事業について（医師修学資金貸付事業）

- 医師確保を図るため、大学在学中の医学部生に対して修学資金を貸し付ける。また、県内における深刻な小児科医不足の現状を踏まえ、貸付者のうち小児科医を目指す医学生に対し、新たに貸付額を加算する。

### 千葉県医師修学資金貸付事業

地域における医師不足や地域偏在の改善を図るため、医学部生を対象に修学資金を貸し付ける事業（毎月15万円～20万円）。大学を卒業した日の属する月の翌月の初日から起算して、1年3月以内に医師の免許を取得し、貸付期間の1.5倍の期間、知事が定める医療機関に勤務したとき、その全額が返還免除になる。

#### [貸付状況（令和7年6月時点）]

	貸付中※（医学部生）	義務履行中（医師）	返還免除	制度離脱	合計
利用者数	335名	323名	32名	40名	730名

※留年による貸付終了者を含む

└うち、小児科として勤務：12名（県内勤務は10名）

### 小児科医志望加算枠の創設（令和7年度新規）

医師修学資金の貸付者のうち、小児科医を目指す大学在学中の医学生に対し、新たに貸付額を加算を行う。

#### [貸付対象]

小児科医を希望する4年次以上の学生（令和7年度は、4名を募集する予定）

#### [加算月額]

5万円

#### [返還免除の要件]

通常の返還免除要件のほか、臨床研修修了後、小児科専門医の取得を目的とした勤務を行い、資格取得後も小児科医として勤務することなどが加わる。

## 2(6). 県支援事業について（医師キャリアアップ・就職支援センター事業）

- 若手医師の県内定着を図るため、医師キャリアアップ・就職支援センターを設置し、医師のキャリア形成や就業支援に向けた事業を実施するとともに、小児科を希望する医学部生に向けた支援の拡充を図る。

### 医師キャリアアップ・就職支援センター

県内医療機関における研修情報などを発信するほか、医療従事者を対象とした医療技術研修などのセミナーや医学部生等を対象とした地域医療に関するイベントを開催。

#### 【イベントの一例】

#### ■病院見学バスツアー

地域医療に対する見識を広げるため、千葉県医師修学資金貸付制度利用者等を対象に、県内における地域の病院を見聞するとともに、先輩医師との意見交換を行うバスツアーを実施。

#### 【令和6年度実績】

- ① 8月：君津地域
- ② 11月：香取海匝地域
- ③ 1月：長生地域



### 小児科を希望する医学部生向けの支援（令和7年度新規）

小児科を選択する医師の増加を図るため、医師キャリアアップ・就職支援センターの業務内容を拡充し、小児科を希望する医学部生向けの支援を行う。

#### 【事業内容】

#### 小児科病院見学バスツアー

小児科に興味を持つ医師修学資金貸付度利用者に対して、小児医療の現場をアピールするため、小児科専門研修基幹プログラムを持つ病院等を対象とした病院見学を実施。

#### 医学生向け小児科セミナー

県内での就業を考える医学部生を対象に、人材サービス会社等と連携し、医学部生向けの小児科セミナーを開催。



### 3. 補助金について①

補助金名	対象	内容	令和6年度決算額
小児救命救急センター運営事業	地方公共団体（広域連合を含む）、地方独立行政法人、公的団体及び厚生労働大臣が適当と認める者	小児救命救急センターに対する運営費補助	55,812,000円 (うち東葛南部 55,812,000円)
小児初期救急センター事業	地方公共団体（広域連合を含む）、地方独立行政法人、公的団体及び厚生労働大臣が適当と認める者	小児初期救急センターを運営する市町村への補助	10,200,000円 (うち東葛南部 5,100,000円)
小児救急医療拠点病院運営事業	入院を要する（第二次）救急医療機関として診療機能を有する病院	小児救急医療体制の確保が困難な地域（山武・長生・夷隅）において、複数の二次医療圏からなる広域を対象として、小児救急患者を毎夜間・休日に受け入れる小児救急医療拠点病院の運営費に対して助成を行う	90,107,000円 (東葛南部に補助なし)
小児救急医療支援事業	市町村又は市町村の一部事務組合	市町村等が病院群輪番制方式又は共同型病院方式により休日夜間の救急医療体制を確保する	30,514,000円 (うち東葛南部 8,456,000円)
小児集中治療室設備整備事業	地方公共団体、地方独立行政法人、公的団体及び厚生労働大臣が適当と認める者	小児集中治療室（PICU）を整備し、小児重症患者の適切な医療を確保するため、小児集中治療室に必要な適当と認められる医療施設に対し、設備整備費の助成を行う	1,167,000円 (うち東葛南部 1,167,000円)
相対的医師少数区域における小児科医確保緊急支援事業	相対的に小児科医が少ない区域における以下のいずれかの医療機関 ①小児の2次又は3次救急を担う医療機関 ②周産期母子医療センター（新生児科）	相対的に小児科医が少ない区域内の中核的な医療機関における、県外からの小児科医確保を支援	— (令和7年度新規事業)
小児診療に新たに取り組む医師等への支援	新たに小児の外来診療を始める医療機関	新たに小児の外来診療を行う医療機関の医師等が、小児診療に必要な知見や技術を習得するために要する経費を助成	— (令和7年度新規事業)

### 3. 補助金について②

【令和7年度医療施設等経営強化緊急支援事業】産科・小児医療確保事業 R7予算(R6補正繰越) 240,000千円

- 地域でこどもを安心して生み育てることができるよう、分娩施設が少ない地域等における分娩機能維持の取組や、小児医療の拠点となる施設について急激な患者数の減少等に対する支援を行う。

【〇出生数・患者数の減少等を踏まえた産科・小児科の支援】  
 施策名:人口減少や医療機関の経営状況の急変に対応する緊急的な支援パッケージ (産科・小児科医療確保事業) 令和6年度補正予算案 55億円 医政局地域医療計画課 (内線8048)

① 施策の目的  
 地域でこどもを安心して生み育てることのできる周産期医療体制及び地域の小児医療体制を確保する

② 対策の柱との関係

	I	II	III
○	○	○	○

③ 施策の概要

- 特に分娩取扱施設が少ない地域等における分娩取扱機能の維持のための取組を支援する
- 地域の小児医療の拠点となる施設について、急激な患者数の減少等を踏まえた支援を行う

④ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等

⑤ 成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)  
 出生数減少や少子化等の影響を受ける施設を支援することで、地域の周産期医療・小児医療の体制を確保する

[補正内容]

- ①分娩数が急激に減少している分娩取扱施設への支援
  - ・主に離島等に所在する医療機関を対象として施設・設備整備、運営費の補助を行う国の既存事業(産科医療機関確保事業)が拡充され、一定期間における分娩数の減少に対し給付金を支給するもの。  
 ↳国10/10
- ②分娩施設が少ない地域における分娩取扱維持への支援
  - ・分娩施設に限られた地域において、分娩施設に対し施設・設備整備の補助を行う国の既存事業(分娩取扱施設施設設備事業)が拡充され、運営費も補助対象とするもの。  
 ↳現行補助率:国1/2、県1/2
  - ・現在は保健医療計画等との整合が求められているが、要件緩和も合わせて検討されている。
- ③妊婦健診や産後健診を実施に対する支援
  - ・近隣の分娩施設の負担軽減を図るため、妊婦健診を含む外来診療や産後ケアの提供に必要な施設・設備整備に対し補助を行う。  
 ↳想定補助率:国1/2、県1/2
- ④急激に患者数が減少している小児医療の拠点施設への支援
  - ・地域における不可欠な小児医療の拠点施設に対し、一定期間における患者数の減少に対し給付金を支給するもの。  
 ↳国10/10

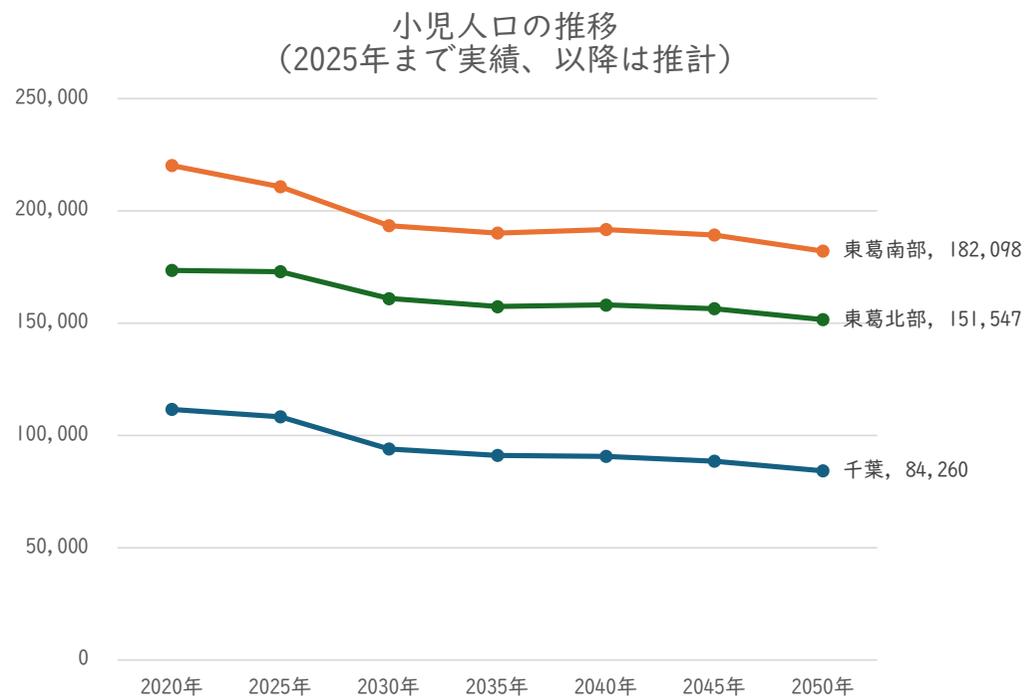
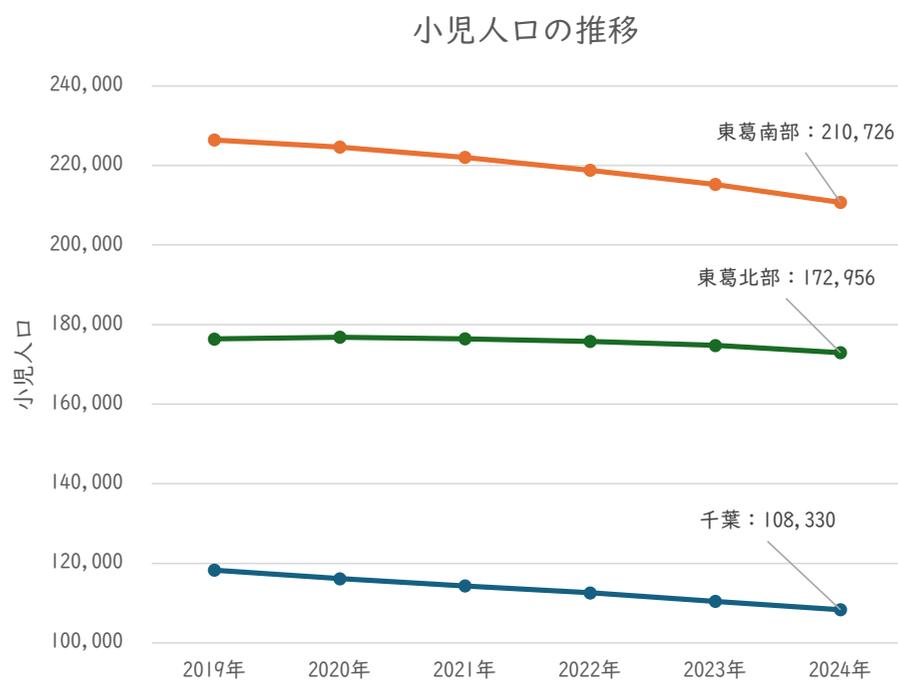
[積算] 国補正額55億 × 4.4% ÷ 240,000千円  
 分娩施設数割合 (R5医療施設調査): 82施設 (千葉) ÷ 1,858施設 (全国) ÷ 4.4%

## 4. 現状の課題について

- (1) 小児科医の不足と偏在
- (2) 小児救急医療について
- (3) 医療機関との上手な付き合い方

## 4(1). 現状の課題について（小児科医の不足と偏在について）

- 千葉県全域における小児人口は大きく減少している。
- 東葛南部、東葛北部、千葉医療圏における小児人口については、緩やかに減少しており、2050年までの推移を見ても減少傾向である。



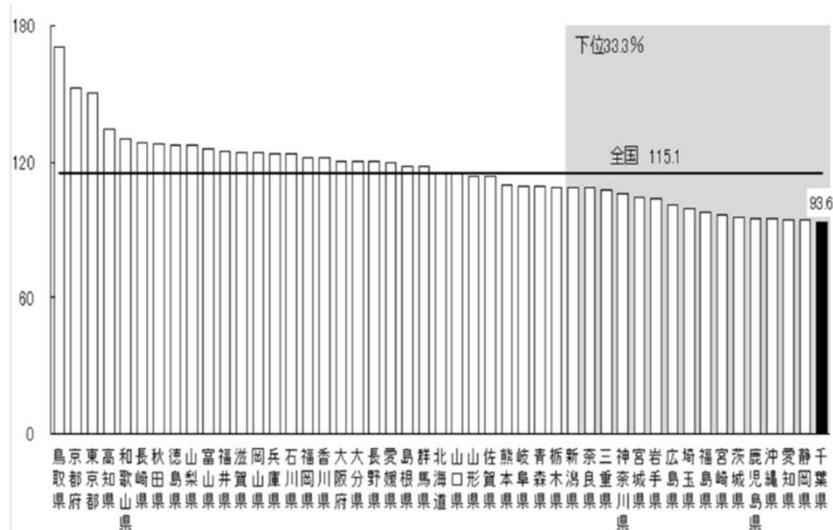
出典：千葉県年齢別・町丁字別人口(医療圏別に集計したもの)



## 4(1). 現状の課題について（小児科医の不足と偏在について）

- 一方で、令和2年末の医師数などを基に算出された小児科の医師偏在指標は全国で最も低くなっており、本県は相対的に小児科医が少ない「相対的医師少数県」である。
- 二次医療圏別で見ると東葛南部は県内で2番目に医師偏在指標が低く、相対的医師少数区域として位置付けられている。

図表 5-7-2-25 都道府県別医師偏在指標（小児科）



資料：千葉県保健医療計画 掲載

### 【小児科医師偏在指標】

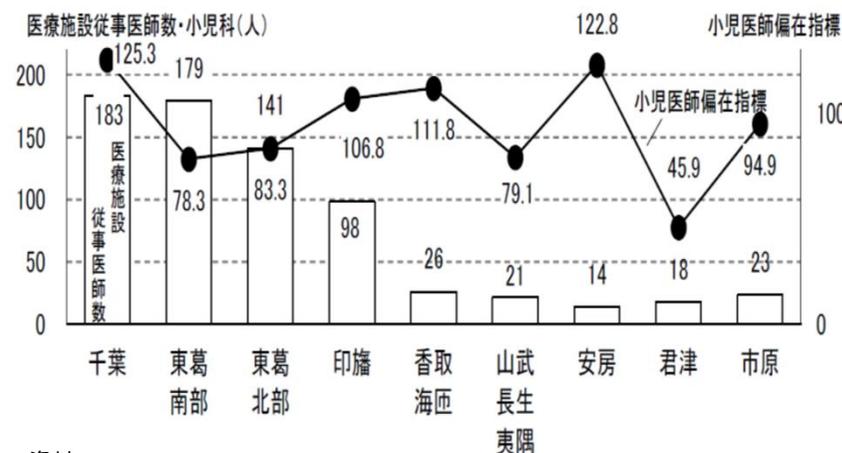
全国ベースで三次医療圏ごと及び小児医療圏ごとの小児科医の多寡を、統一的・客観的に比較・評価した指標。15歳未満の人口を「年少人口」と定義し、年少人口における医療需要や患者の流入のほか、小児科医の性別・年齢分布などを考慮して算出。

### 【相対的医師少数都道府県】

小児科医師偏在指標が下位3分の1に該当する都道府県を、相対的医師少数都道府県と設定。小児科医師が少ないことを踏まえ、小児医療提供体制の整備について特に配慮が必要な医療圏として考える。

なお、小児科医の追加的な確保ができないと誤解を招く恐れがあるため、多数都道府県は設けない。

図表 5-7-2-26 二次保健医療圏別医療施設従事医師数及び医師偏在指標（小児科）



資料：

【医療施設従事医師数】令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）

【医師偏在指標】厚生労働省提供資料

千葉県保健医療計画 掲載

## 4(2). 現状の課題について（小児救急医療について）

二次医療圏	小児初期急病診療所	在宅当番医制 (実施市町村)	小児救急輪番制度等	三次救急病院
東葛南部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習志野市急病診療所 (毎日20:00～23:00)</li> <li>・やちよ夜間小児急病センター (月～土：19:00～23:00) (日：18:00～21:00)</li> <li>・船橋市夜間休日急病診療所 (毎日21:00～翌日6:00) ※午後9時～午前0時の診療は、 内科または外科の医師による診療</li> <li>※以下は小児科の担当医による診療(15歳未満内科) (月～金：20:00～23:00) (土：18:00～21:00) (日・祝：9:00～17:00) (18:00～21:00)</li> <li>・市川市急病診療所 (毎日20:00～23:00) ※休日は10～17時も診療</li> <li>・浦安市急病診療所 (毎日20:00～23:00) ※休日は10～17時も診療</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習志野市</li> <li>・八千代市</li> </ul>	<p>船橋市：船橋市立医療センター 船橋二和病院</p> <p>市川市：東京歯科大学市川総合病院、 行徳総合病院</p> <p>浦安市：東京ベイ・浦安市川医療 センター、順天堂大学医学 部附属浦安病院</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京女子医科大学附属八千代医療 センター</li> <li>・船橋市立医療センター</li> <li>・東京ベイ・浦安市川医療センター</li> <li>・順天堂大学医学部附属浦安病院</li> </ul>

## 4(3). 現状の課題について（医療機関との上手な付き合い方）

- 千葉県では、限られた資源を有効活用するため医療機関との上手な付き合い方を普及する必要がある。  
#8000における時間延長の検討、保護者に対する講習会の動画配信等について検討している。

### 始めてみよう！ 医療機関との上手な付き合い方

近所にクリニックはあるけど、診てもらえたら、やっぱり大きな病院の方が安心だね。

入院している病院の先生から、他の医療機関への転院を勧められたけど、どうして転院しなくちゃいけないの？

このように考えていませんか？

ちょっと待って！

**みんなが安心して医療を受けられるよう、あなたができることから始めてみましょう**

- 1 かかりつけ医を持ちましょう**  
日ごろの悩みを気軽に相談できるかかりつけ医を持ちましょう。
- 2 必要な医療がスムーズに受けられる施設を選択しましょう**  
医療機関ごとに得意分野は違うため、入院後でも、病状が安定した等の場合には、別の医療機関への転院を勧められることもあります。お医者さんの説明をよく聞いて、いまのあなたに必要な医療がスムーズに受けられる施設を選択しましょう。
- 3 診療時間内に受診しましょう**  
急病などの一刻を争う症状でなければ、診療時間内に受診しましょう。病状、手術、検査などの説明も、緊急のとき以外は、診療時間内に受けましょう。
- 4 主治医以外の対応もあります**  
医療は複数のお医者さんのチームで提供されています。主治医以外のお対応もあることを理解しましょう。

千葉県

## こども急病電話相談

受診した方が良いのか、様子を見ても大丈夫なのか、看護師や小児科医が電話でアドバイスします。

朝まで 局番なしの **#8000**

銚子市からは、043(242)9939におかけください。

- ダイヤル回線、光電話、IP電話、銚子市からおかけの場合 **☎043(242)9939**
- 相談日時は 令和5年12月から **毎日・夜間 午後7時～翌午前8時**

緊急・重症の場合は迷わず「119」へ

お子さんの急な病気で心配なとき…

局番なしの #8000 または、043(242)9939

看護師・小児科医が電話で相談に応じます。

実施：千葉県 運営：千葉県医師会

### 子育て応援講座 2024 in ふなばし

小児救急ガイドブックプレゼント

子育て応援講座 2024 in ふなばし

小児救急ガイドブックプレゼント

船橋市医師会、千葉県小児科医会、千葉県小児保健協会、日本小児学会、千葉県地方 後援事業

子育て応援講座 2024 in ふなばし

心も体も元気に育て！

赤ちゃんは「守られていて安心！いい気持ち」という信頼関係を築く時期。幼児は運動機能が発達し「やってみよう！」「できる！うれしい！」など興味と自信に目覚め、自ら力をもっています。私たちはそんな子どもたちとご家族を、みんなで応援したいと願い「子育て応援講座」では毎日元ママを決めて、情報をお楽しみながら「みんなどうしてる？」と身近な生活圏での交流も考えています。皆さまのご参加をお待ちしています。

テーマI  
命を守ろう！～小さな子どものけが～  
だっこひも、ベビーカーで「おっと！あぶない！、とならないために

テーマII  
「心を丈夫に、体を丈夫に、より生きやすく！」  
スマホ見せる？ デジタル世代の育ちについて

会場 船橋中央公民館5階 第6.7集会所  
定員 36名（コーナー係有 乳幼児連れでも参加OK）  
対象 子育て中のご家族 支援者  
講師 松本歩美 先生  
（船橋青い空こどもクリニック院長・千葉県医師会理事）  
アシスト 西村昭美香 講師  
（一般社団法人マザーナースオリブ代表）

開催日 10月20日（日）  
時間：10:30～12:00

お申し込み方法  
参加費無料 QRコードからお申込みください  
受付開始 9月13日（金）9:00より

★参加32団体が多彩な子育て情報をお届けします。詳しくはHPでご確認ください★  
<https://messe-funabashi.com/>

お問い合わせ先  
実行委員会事務局（NPO法人船橋子どもも未来）  
月・火・金/10:00～15:00 **047-424-0851**  
留守電には必ず連絡先とご用件を入れてください

主催：子育て応援講座！nふなばし実行委員会  
後援：船橋市医師会、千葉県小児科医会、千葉県小児保健協会、日本小児学会千葉県地方、千葉県小児科医会、船橋市医師会、船橋市社会福祉協議会、船橋市工務部、船橋市私立幼稚園協会、船橋市保健協会、千葉県船橋市船橋地区医師会、船橋市医師会（敬称略）